

平成21年6月3省合同審議会

既存化学物質審査物質
(生態影響)
に係る分解性・蓄積性データ

既存化学物質安全性点検データ

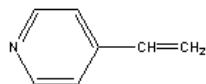
[データの説明](#) [分解性](#) [濃縮性](#)

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
4-ビニルピリジン	昭和60年12月28日	濃縮性がない又は低いと判断される化学物質

物質情報

構造式



CAS番号	100-43-6
点検対象物質名称	4-ビニルピリジン

官報公示整理番号	官報公示名称
5-717	4-ビニルピリジン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD	直接測定	TOC	HPLC
	0%		1%	4%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
1.57mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
揮発	8週間	コイ	5

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	20μg/L	58 ~ 96
第2濃度区	2μg/L	48 ~ 96

総合検索システムへ
[100-43-6](#)

[前画面に戻る](#)

既存化学物質安全性点検データ

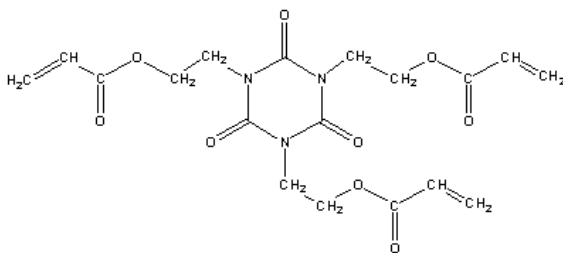
[データの説明](#) [分解性](#) [濃縮性](#)

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
2, 2', 2''-(2, 4, 6-トリオキソ-1, 3, 5-トリアジン-1, 3, 5-トリイル)トリエチル=トリアクリラート [官報公示整理番号: 5-1060] [CAS番号: 40220-08-4]	平成14年11月8日	難分解性と判断される物質
2, 2', 2''-(2, 4, 6-トリオキソ-1, 3, 5-トリアジン-1, 3, 5-トリイル)トリエチル=トリアクリラート [官報公示整理番号: 5-1060] [CAS番号: 40220-08-4]	平成17年12月22日	難分解性であるが高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	40220-08-4
点検対象物質名称	トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸アクリル酸エステル

官報公示整理番号	5-1060	官報公示名称	トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸アクリル酸エステル
----------	--------	--------	---------------------------------

備考

・HPLC分析(逆相系)における保持時間から、分解度試験において生成した変化物は、点検対象物質より極性が高い。このため、濃縮性については点検対象物質で確認した。

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD	直接測定	TOC	HPLC
	24, 0, 12 (12)%		44, 16, 49 (36)%	100, 53, 100 (84)%

備考

・TODは組成式から算出した。
 ・被験物質は試験液中で変化し、被験物質より極性が高いトリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸(86.27及び106%生成)、トリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸モノアクリル酸エステル(13.7及び0%生成)及びトリス(2-ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸ジアクリル酸エステル(0.32及び0%生成)を生成した。

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	分配係数試験

n-オクタノール／水分配係数

log Pow	試験方法
1.9	HPLC法

備考

※ 溶離液: メタノール／精製水 (60/40 V/V)

総合検索システムへ
[40220-08-4](#)

[前画面に戻る](#)

Copyright 2002(C) National Institute of Technology and Evaluation All rights reserved.

既存化学物質安全性点検データ

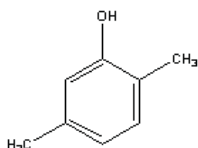
[データの説明](#) [分解性](#) [濃縮性](#)

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
2,5-ジメチルフェノール [官報公示整理番号:3-521] [CAS番号:95-87-4]	平成17年12月22日	難分解性と判断される物質
2,5-ジメチルフェノール [官報公示整理番号:3-521,4-57] [CAS番号:95-87-4]	平成20年8月12日	難分解性であるが高濃縮性ではないと判断される物質

物質情報

構造式



CAS番号	95-87-4
点検対象物質名称	2,5-キシレノール

官報公示整理番号	官報公示名称
3-521	ジアルキル(C=1~5)フェノール
4-57	ポリ(1~3)アルキル(C=1~3)ポリ(1~3)ヒドロキシポリ(1~5)フェニル

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100mg/L	30mg/L

間接測定	BOD	直接測定	TOC	HPLC
	0, -1, 0%		2, 3, 1%	3, 2, 1%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	分配係数試験

n-オクタノール/水分配係数

log Pow	試験方法
2.6	HPLC法

備考

・溶離液:メタノール/リン酸緩衝液(pH3.0)(6/4 V/V)

総合検索システムへ
[95-87-4](#)

[前画面に戻る](#)

既存化学物質安全性点検データ

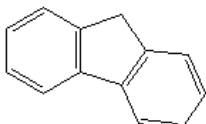
[データの説明](#) [分解性](#) [濃縮性](#)

経済産業公報(平成13年1月5日以前は通産省公報)公表内容

公表名称	公表年月日	点検結果
フルオレン	平成2年12月28日	蓄積性がない又は低いと判断される化学物質

物質情報

構造式



CAS番号	86-73-7
点検対象物質名称	フルオレン
官報公示整理番号	官報公示名称
4-643	フルオレン

分解性

判定	難分解性
試験方法	標準法

試験装置	試験期間	試験物質濃度	活性汚泥濃度
標準	4週間	100ppm	30ppm

間接測定	BOD
	0%

直接測定	GC
	1%

濃縮性

判定	低濃縮性
試験方法	濃縮度試験

48TLm値(48hr)	魚種
51.5mg/L	ヒメダカ

試験装置	試験期間	魚種	脂質含量(%)
標準	8週間	コイ	3.9

	濃度設定	濃縮倍率
第1濃度区	20μg/L	396 ~ 821
第2濃度区	2μg/L	219 ~ 830

[総合検索システムへ](#)
86-73-7

[前画面に戻る](#)